

## 令和5年度 第1回高岡の森弘前藩歴史館協議会会議録（要旨）

**日時** 令和5年12月13日（水） 午後2時開始 午後3時10分終了  
**場所** 高岡の森弘前藩歴史館 映像・講話室  
**出席者** 瀧本 壽史 委員長（議長） 島内 智秋 副委員長  
小山 伸吉 委員 葛西 修造 委員  
神 怜奈 委員 工藤 利彦 委員（6名）  
**欠席者** 席 子昕 委員  
**事務局** 館長 熊谷 義昭、館長補佐 古川 五月、運営係長 相澤 智香子、  
総括主査兼学芸員 澁谷 悠子、主事兼学芸員 池ノ谷 匡祐（5名）

---

### 次 第

#### 案 件

- (1) 令和4年度事業報告について
  - (2) 令和5年度事業経過報告について
  - (3) 令和6年度事業計画について
- 

**委員長** それでは会議を進めさせていただきます。今日は委員7名中6名が出席ということで会議は成立しております。それでは、次第に従いましてまず案件の1 令和4年度事業報告というところからお願いいたします。

**事務局** 【案件の1について説明】

**委員長** はい、ありがとうございます。昨年1年間の動きについて報告いただきました。昨年度実施したことについて、ご質問、ご意見等あればお願いします。どうでしょうか。

**小山委員** 令和4年度の展覧会入館者数の目標値 14,000人とありますが、いつのものを基本にして設定しているのでしょうか。

**委員長** 目標値についてお話いただけますか。

**事務局** 開館3年目にコロナ禍となりましたが、その前の実績値から目標値とした形にはなっています。コロナ前に戻したいということを含めて考えているものではありません。

**小山委員** 歴史館は、それほど古い施設ではないのですよね。というのは、全国的な指標があつてのことなのか、それともここが単独で目標値を決めているのかということです。

**事務局** ここの施設、単独で決めています。

オープン当初、その翌年は1万人を超えているというところもありまして、それをまず目標にしているということがあります。

**委員長** 確かに開館当初は1万人を超えていましたね。

**事務局** 開館当初の平成 30 年度は 2 万人を超えています。そして翌年度は 14,000 人となっていますけれども令和 2 年度からはコロナになってしまったので 6,000 人台で推移しているというところ  
です。

その当初の 2 万人というのはハードルも高いので翌年度の 14,000 人を採用して目標値として掲げていましたが、掲げた途端にコロナ禍となってしまいまして 7,000 人に届かなくなり、6,000 人台となっているというところ  
です。

**委員長** 他にございますか。

**葛西委員** 流鏑馬イベントの感想のところ、高照神社や馬場跡のような素晴らしいところがあったと初めてわかったと書いている方や、改修工事があれば協力したいという声が上がっています。実は、近々高照神社運営検討委員会で会議を開く予定で来年度の計画も考えています。検討委員会の活動は今年の 4 月から始めていますが、雪おろしをしたいとか清掃をお手伝いしたい、など協力いただける方がいらっしやいまして、時々お見えになる方もいらっしやいます。しかしながら馬場跡についてはよほど興味がある人でなければ、馬場跡の場所も分かりません。工事に協力したいという人も含めて、こういった流鏑馬イベントを通して、私ども(検討委員会)とうまく繋がっていければな、と思っています。

また、今年度の夏場に検討委員会で高照神社を案内する見学会を開催しましたが、様々感想をいただきまして、「神社の中に入ってとてもよかった」、「初めて中に入った」、書道をやっている方は「字がとてもよかった」などお話ししておりました。そして、来年度も是非やってくださいという声もあって、私共としては、再度計画をしたいところでした。今度は気候もよくなった春に、拝殿の中でそれぞれご自分の安全祈願でもいいですし、できれば御祈禱までやってみたいな、と思っていました。ですので、何かしら歴史館の事業と一緒になるとか、人が集まる時にうまくあわせて、歴史館の見学と神社を行き来するようなことで是非協力願えればな、とも思っていました。

また、高照神社で、参拝者にどこから来たのか尋ねると、地元の者だと言う人もあれば県外からだという人もけっこう来ています。神社までは来ていても、全員が歴史館を見学するとは限らないので、歴史館の展示でこれまでの神社の流れというものがわかるようなものもあつたらな、と思っていました。

**委員長** 今のお話、館の方ではどうですか。

**事務局** ご指摘のとおり、当館の常設展示の部分、高照神社を紹介する部分や津軽信政を紹介する部分  
があまり大きな分量が取れないということがあります。案件 3 の方になります。来年度の予定としまして、秋には仮称ではありますが「高照神社展」を検討しております。その展覧会の期間に検討委員会さんと連携したイベントを実施できれば、と今お話しを聞いて思いました。

**葛西委員** 今のお話ですと秋ということですが、9月というのは検討委員会側ではちょっと動きづらい可能性はありますがこれはこれとして、他にもいろいろとやり方はあると思いますので、何れにしても人の流れはあるので何かやっていきたいなと思います。

**委員長** 歴史館は検討委員会へオブザーバーなどで参加していないのでしょうか。

**事務局** 文化財課は参加しているとのことですが、歴史館としては参加しておりません。

**委員長** 高照神社とこの歴史館はつながりが深い部分がありますので、その神社の検討委員会の動きは年間通してやっているわけですね。そして歴史館の企画展としても高照神社についてとりあげる予定ですが、4月ではこういうことをしていますよ、ですとか検討委員会の方で立てる計画を歴史館側も把握しておいて行き来できるような形であれば非常に連携はとれるのかなあ、というふうには思います。そういうご主旨であったということで葛西委員はよろしいでしょうか。

**葛西委員** 検討委員会は去年始めたばかりでまだ具体的な事業計画は出せる段階には至っていませんが、近いうちに打合せをして、早めに助成金の報告をしながら計画も立てていきたいと思っています。2～3事業の計画が立てられれば連絡をして、検討委員会のホームページにアップロードしたいと考えております。

**委員長** 協力できる部分は協力しながら、進めていただければと思います。他にどうでしょうか。

**神委員** では2点ほど。

資料中、寄贈のところですが、やはり刀の関連としましてはこの寄贈されている押形(おしがた)が特に気になります。刀剣の形、刀文などの描写の精度や状態としては展示が可能なものでしょうか。展示のケースの中に入っていますと観るとするのはどうしても限界があります。その時に押形の方があって細かい模様などが見えますので関心を持つ方もおそらく多いかなと思います。

次、看板等の設置のところですが、展覧会ごとにPR看板を市役所玄関前に設置するというところで、これは大変良い取り組みだと毎回見ていました。

市役所前に来ると大きな看板があって、今こういうのをやっているのだと。それこそ私の知人なんかは市役所の前を通って、あの看板を見て、今刀剣をやっているの？じゃあ神さんこういう好きそうだねと声をかけてくれる方もおまして、結構あれが市民の目に入っているのだろうなと思っていました。一方、あの場所にドーンとあるせいで、ここ(歴史館)ではなく、市役所の中で刀剣展をやっているとなぜか勘違いされて何階でやっているのですかと聞きに来る方もいるというお話も聞いていました。あのPR看板を見た方がちょっと離れたこの歴史館まで足を運ぶというような何かを考えていくという必要があるかなと思っています。

**委員長** はい。押形(おしがた)についてはどうですか。

**事務局** 1点目の押形については、全体として、資料の状態としては大きな問題はなかったと記憶しています。展示に耐えうる精度かどうか、については詳細に調査・検討した上で展示公開できればと思います。後押しいただいております。

**神委員** すばらしいです。楽しみにしております。

**委員長** 市役所の看板は大きくていいですね。間違いなく歴史館の展示であるということをお伝えできればということです。

**事務局** 看板のことですが、同様のお問い合わせをいただいたこともありまして、それ以降、会場はこちら歴史館である、ということを目立つようにデザインを変更しております。

**委員長** はい、まだまだあろうかと思いますが時間の関係もありますので案件の2についてご報告お願いします。

**事務局** 【案件2について説明】

**委員長** ここで、時間の関係もありますので案件の 3 を先に説明いただいて、その後でまとめてご意見等をいただくということで進めさせていきたいと思います。説明をお願いします。

**事務局** 【案件 3 について説明】

**委員長** 案件 1 も含めましてでも結構ですが、館の運営、そして全般について、内容についてご質問、あるいはご意見をお話いただきたいと思います。

**工藤委員** 小中学校の学校利用の部分ですが、令和4年度に、コロナ対策が緩和されたことで緩和前まで行けない施設や、やれない行事も多かった分、再開できるようになりました。更に移動のバスを仕立ててもらえるこちらには来やすいということもあってか、それが反映された数値になっていと思われま。令和 5 年度に関してはその反動から減少傾向になったのではないかと思われます。四中さんあたりは2年間続けて2年生が校外学習としてきているようですが、学校行事の中に、ある程度固定化してしまった学校さんは強いと思います。一方で、新たに学校行事として取り入れる、となると制限が緩和されて選択肢が増えた分、来年度以降も PR が必要だと思われま。

学校としては一番ネックになるバスなどの交通手段の部分をサポートしていただかないと、利用には繋がりにくいのでは、と思うのが一つです。

あと別にもう一点、令和 6 年度、7 年度にかけていずれも小学校の先生方の動きとして、数百人単位の規模で弘前を会場にした会議が予定されています。令和 6 年度は東北エリアの小学校の校長会の東北大会が7月初めの2日間、翌年度はおそらく秋頃かと思われまが小学校の社会科の先生方が集まる大きな会議があります。

こういったところにうまく周知していければ来館者数増につながるのかなということがありますので、情報提供としてお伝えしておきます。以上です。

**委員長** 大変大事な情報だと思いますので、しっかり PR していただければと思います。

**島内委員** 一つは感想と、もう一つはこんなのどうだろうというお話をさせていただきます。

まずは、感想としてですが、事前に広報ひろさきで宣伝していて、それにプラスして関連したイベントというのを紹介し、それがアップルストリームなどにあげられているといった一連の流れがすごくいいなと思いま。また、令和4年度の市の 5 館巡りのスタンプラリーというので、ここでは市の施設だけのコラボでした。例えばですけれど4年度の武家のみやびのところと貸衣装屋さんコラボでそこに行って写真をとる、といったことや、そうなれば写真館さんにも加わっていただいて写真を撮って、それをインスタグラムにアップすると例えばファイル 1 枚もらえる、ですとか、そしてホームページに写真を載せてもいいという方であれば次々写真をホームページに載せて行くことで、開催期間中にも発信し続けることができるのかな、と思いま。

また、そこにインスタを見た人であれば無料で高岡の森弘前藩歴史館のファンクラブに入れますよ、ですとか特典があるようにして宣伝してくれた人にはこういうメリットがあるよ、ですとか、ちょっと遊び心があるような取り組みもできるのではないのでしょうか。

**委員長** それは楽しいですね。ありがとうございます。

他にどうでしょうか。

神委員、春に刀展をということですが時期的にどうですか。

**神委員** 桜の観光客がこちらに流れてくることを期待します。ただ、桜ですと弘前公園に人がたくさん集まるので、その方達に歴史館にきてもらうとなると市役所前からバスに乗る必要があります。しかし、何時のバスに乗ればこちらに来られる、ということがわかりづらいらしいので、いっそのこと高岡行のバスの時刻だけをピックアップした専門の看板があってもいいのかなとも思います。

**小山委員** それは必要だと思います。

**神委員** そして下の方に今、会期はこうです、今はこういうのをやっていますというので毎回ポスターだけ入れ替えるようなものが市役所前にあるだけで刀に興味がある方はポスターにグッと惹かれますから、更につられてこのバスに乗ればいいとこちらに流れてくるかなと。

**島内委員** 矢印を貼ったりしてですね。

**委員長** 今の話を聞いていかがですか。

**小山委員** 岩木山観光協会には、年間何百件とは言いませんが、高照神社さんや歴史館の状況の問い合わせがあります。

その中でも多い印象を受けるのが先ほどのお話の中でありました神社の手伝い人ですとか、こちらで展覧会をやっている時に高照神社の方のガイドはどのようになっているのかと聞かれます。高照神社さんの方で常時、人がいてガイドができるのであれば、連携は可能ではあると思いますが、これは非常に難しい問題があります。

それから、やはり路線バスの本数が非常に少ない。看板に限ったことではないですが、告知が非常に必要なことだと思います。岩木山観光協会でもまた協力させていただきます。ポスターや看板などのデザイン上のことですが、バナー広告のような、これだけは年中出ているというものと、お祭りの時にはそれだけが目立つ形が必要だと思います。さくらまつりはあくまでも弘前公園の桜がメインであり、山の桜もありますが二の次になってしまうぐらいですから、何枚も多めにポスター類を持って行って貼る時は、スペースが空いてればできるかぎりたくさん貼ってきます。そのように積極的に出ないと岩木山麓まで足を運んでもらう、というのはちょっとハンディがありますよね。

**委員長** 葛西委員何かありませんか。

**葛西委員** 町会の方としては、こちら(歴史館)との接点は、以前よりだいぶ増えたのかなと感じています。高照神社運営検討委員会を立ち上げてきて、神社の修復のためのおおよその経費などがもうすぐ出されると思いますので、それに向けて町会の人と協力しながら、検討委員会に協力してもらっている人たちにもいろいろと情報発信して向こう一年希望を持って行けそうではあるのかなと思っていました。

そのような中で やはりいつも思いますが、町会が神社の維持管理に今も深く関わっているということを是非来館される方々に発信してほしいなと思っています。この間も雪かたづけのこともあるので旧百沢小の裏側までその道を使っている都合上、一斉に清掃を行っていますが、神社に来られた方に、みんな自分たちが管理しているのだと直接言うと、「いや、本当ですか？」とすごく驚いて「まさか」、と言われます。そういう場面もありますので 直接私共と話す機会があれば非常にうまく行きそうなのではないかと、そして、もう少し頑張っていきたいなと思いました。

**委員長** 高岡集落は 300 年続いている集落であり、こういうところは他にないわけですので、是非支援していければと思います。

**委員長** 他にどうでしょうか。

**小山委員** 高照神社の手伝い人についてですが、岩木支所の総務課に地域おこし協力隊がいますが、今期は今度の 3 月で任期満了となります。そしてまた新しい人が来ると聞いています。岩木地区に関連することをやりたいということで、竹細工などをやるメンバーが入ってくるということも聞いています。今までとは多少別な角度で、それでいて非常に土地のことを愛そうという人たちが 3 名ほど来ると思いますので、冬の雪片付けなども手伝ってもらうとかいいのではないかと思います。流れとして、その 3 名の方がくる、そしてそれにプラスして横の連携をとるということで、事前に希望を出した方がいいと思います。高岡町会の方から岩木支所の総務課の方へ希望を出しておいてもらえば、おそらく近場である私どもの岩木山観光協会の方では聞いていたかどうかという問い合わせがくるかと思しますので、そうすると情報発信できると思います。とにかく人手が必要ですよ。

**葛西委員** この間も電話がきて、運営委員会に関係した人ですが、自分で仲間を連れてきて、高照神社の随神門のところには竹ぼうきがあるが、あれを使って掃き掃除をしてもいいのか聞かれ、どうぞやってください、ということがありました。結果掃き掃除をしていったそうで、神社への関心が広がっているように感じられますので、更にぼうきの数も増やそうかなと思っていました。

**委員長** 高岡集落、それから高照神社も一緒にやっていかないと(維持管理は)難しいなと感じるところです。

私から一つだけ。

私がいつも思うのは、ここの常設展というものは何なのか、という話です。しっかりした常設展の基盤を作った上で企画展をやる、という形になればいいと思います。例えば、今度の絵馬展もそうです。絵馬自体も、ここの持ち味でもありますし、刀もそうですけど、常設展という基礎を固めた中で若干の資料の入替をするなど、常設展のあり方を明確にしていけば企画展に追われることもなく、学芸員の方々の労力も多少軽減できるのかな、と思っています。

企画展は全部合わせると約 280 日間もあり、その間入替による休館ということで 365 日終わってしまいます。企画展を 1 年間いっぱいやらなくても常設展の中でポイントをつけていけばまた違ってくるのかなと感じます。ここに企画展を目指して来るという人も多分いるかと思うのですが、自分の日程に合わせてくるとなると常設展を観るという形になりますので、常設展の充実イコール企画展による負担を軽減していく、というところでバランスをとっていただければ館運営も少しやりやすくなるでは、という気がいたします。その点、よろしく願いできればと思います。

**委員長** それでは協議会という形では終わりたいと思います。何かその他で案件よろしいでしょうか。ないようですので、これで会議は終了ということで事務局の方にお返しします。